

昭和 27 年	山形県中学校体育連盟連絡協議会を設立し、11 月に山形県中学校体育連盟が創立 即、規約制定 初代会長に渋谷忠太郎氏（山一中）就任 県中学校体育大会種目別分散大会開始 12 種目を置賜・村山・最上・庄内の 4 地区において開催
昭和 28 年	第二代会長に朝倉健治氏（山二中）就任
昭和 29 年	第二代会長に朝倉健治氏（上山中）就任
昭和 30 年	第三代会長に原田國夫氏（山一中）就任 県中体連「会報」創刊号発刊 事務局を山一中に置く 東北・全国中体連に加盟 第 1 回全日本放送陸上県大会を開催
昭和 32 年	県中学校体育連盟のマーク制定 考案者:伊藤藤雄氏（山一中） 県中体連旗制定 中学校創設 10 周年記念事業として、県下中学校親善訪問リレー実施 体育大会にバドミントンを新設 中学校スキー大会が、県総体中学校部門として初開催
昭和 33 年	第四代会長に井場琢蔵氏（山六中）就任
昭和 34 年	大木チエ（米二中）80mH 全国 1 位、日独対抗親善陸上大会（東京）に招待
昭和 35 年	副会長黒江三郎氏逝去（11 月 22 日）
昭和 36 年	第五代会長に志賀章雄氏（西山形中）就任 第 1 回総合体育大会開催山形市・スキー米沢市 大会専用臨時列車運行 山形新聞社より種目別優勝旗寄贈 県中学陸上選手県大会 男子 400mR で県選抜チーム（池田実・町田一之・佐藤文次・田口重之）が日本中学新記録樹立
昭和 37 年	総合体育大会に「相撲」新設し 14 種目、開催地は村山・置賜・庄内の持ち回り 「相撲」の優勝者に「柏戸杯」を山形新聞社より寄贈される
昭和 38 年	県中学校スキー大会を県総体から独立し、県中体連単独大会とする（間沢） 第 3 回県中学陸上大会で、菅原佳子（酒三中）80mH、日本中学新記録を樹立 12 秒 2
昭和 39 年	県中体連の表彰規程制定 全国記録樹立者・全国 3 位以内入賞者・県大会 3 年連続優勝者と優勝校、本会の役員任期と 退任関連
昭和 40 年	全日本放送陸上で 3 種目日本一の快挙 1. 佐藤美紀子（酒一）女子 80mH12 秒 3 2. 山大附中チーム、男子低学年 400mR（太田・鈴木・白井・大場）49 秒 0 3. 余目中チーム、女子低学年 400mR（渡会・池田・池田・渡部）54 秒 1

- 昭和 41 年 第五代会長志賀章雄氏逝去（11 月 19 日）
第六代会長に栗野茂氏（本沢中）就任
- 昭和 42 年 第七代会長に大武重雄氏（山一中）就任
全日本中学校放送陸上大会で全国 1 位池田りえ（余目中）女子 100m12 秒 8
- 昭和 43 年 全日本中学校放送陸上大会で全国 1 位 浅野優子（山附中）女子走高跳 1 m55
- 昭和 44 年 全国少年団バレーボール（6 人制）選手権大会において、第 1 回大会優勝
中原バレーボールスポーツ少年団男子（山六中）
- 昭和 45 年 専門部が設置（15 部） 部会規則制定
連盟結成以来、14 郡市からなっていた単位中体連が、鶴岡東西田川・酒田飽海・新庄・最上、それぞれ統合し 11 支部
全日本中学放送陸上大会 優勝吉村篤司（酒三中）男子三種競技
- 昭和 46 年 県中学総体が、東北・全国大会の出場選抜大会の性格をおびてくる
冬季大会が、雪不足のため中止
本連盟規約改正なる
- 昭和 47 年 第八代会長に石川清秀氏（山六中）就任
県中総体に剣道女子の部誕生 県剣道連盟より優勝トロフィー寄贈
バドミントン男女ダブルスに柗でん六より優勝トロフィー寄贈
第 10 回全国中学校スキー大会（長野）優勝鈴木典（新庄中）男子 10km
優勝男子リレー県選抜チーム（鈴木・佐藤・町田・安部・菅）
※全国高等学校総合体育大会が、山形市を中心に開催
- 昭和 48 年 第九代会長に長谷川芳治郎氏（山五中）就任
本連盟が山形県体育協会に加盟する
第 11 回全国中学校スキー大会（赤倉）優勝大場節子（瀬見中）女子 5km
- 昭和 49 年 県中学総体開催費として県費 100 万円補助
第 13 回全国学校体育研究大会山形大会開催公開校 山一中・山五中・山六中
- 昭和 50 年 日本学校体育連合研究会表彰 石川清秀氏（八代会長）
- 昭和 51 年 第十代会長に高橋善治氏（山六中）就任
選手派遣費（県費）予算化
日本学校体育連合研究会表彰 酒井健一氏（元副会長）
第 14 回全国中学校スキー大会（塩沢）優勝男子リレー県選抜チーム（三浦・山田・佐藤・高橋）
- 昭和 52 年 総体開催地が、置賜・村山・飽海・田川に「最北」が加わり 5 地区 最北大会初大会に相応しく YBC が開会式を TV 放映
文部大臣体育功労賞受賞 石川清秀氏（八代会長）
第 8 回全国中学校卓球大会 優勝斎藤清（立川中）男子シングルス
日本学校体育連合研究会表彰 長谷川芳治郎氏（9 代会長）

- 昭和 53 年 第十一代会長に下園尚人氏（山六中）就任
選手強化費（県費）交付
中学生の競技力向上取り組み開始「山形県中学校体育連盟選手強化基本要領」制定
全国・東北大会出場選手の強化合宿・練習・試合等県内各地で夏季休業中に実施
冬季大会が雪不足のため、変則大会（学校対抗なし）
第 17 回県中学校スキー大会に、山形師範学校スキー部 OB 会より優勝旗寄贈
日本学校体育連合研究会表彰 安野悌次氏（元副会長）
- 昭和 54 年 体操に跳馬・鞍馬と段違い平行棒、柔道に重量別制を採用
日本学校体育連合研究会表彰 小松幸雄氏（元副会長）
5 月 4 日付文部事務次官通知により対外運動競技会が緩和、新人大会に活気
県中学新人大会として共催を認める（バスケットボール・バドミントン・卓球）
- 昭和 55 年 対外運動競技会の実態と改善に向け、検討
県中学新人大会種目に、柔道・サッカー・バレーボールが追加
総体 20 回大会を期して、山形新聞・山形放送株式会社より寄贈の優勝旗 30 本、全種目分が
更新（山形大会）
- 昭和 56 年 第十二代会長に横山新一郎氏（山六中）就任
県中学新人体育大会開催基準要領を制定（会報に記載）
新たに、ソフトボール・相撲・体操を加え、9 種目の大会
第 21 回全国中学校選抜水泳大会 優勝伊藤和佳（大山中）女子 400m・800m 自由
- 昭和 57 年 県中体連育成強化事業推進 ①全国・東北大会出場選手強化②新人優秀選手強化③スポーツ
重点強化
軟式庭球と野球が追加され、県中学新人体育大会 11 種目
第 9 回全国中学校陸上競技大会優勝斎藤秀樹（八幡中）男子 800m
- 昭和 58 年 「べにばな国体」に向け、本連盟の組織強化のため、その見直しを検討
種目専門部長（中学校長）新設、常任理事会設置を決定
日本学校体育連合研究会表彰 横山新一郎氏（12 代会長）
全国ジュニアオリンピック陸上競技大会 優勝市川久美子（山五中）砲丸投 A
全国中学校通信陸上競技大会 優勝青木繁（蔵一中）男子 3,000m
全国ジュニアオリンピックスキー大会 優勝栗野利信（蔵二中）男子回転 B・岡崎若華（蔵
二中）女子大回転
- 昭和 59 年 第十三代会長に小関元治氏（山三中）就任
昭和 60 年度選手強化事業実施計画 ①県新人大会優秀選手②スポーツ重点強化として単位
中体連で 3 種目指定
「べにばな国体」に向け、「中学校スポーツ競技力向上長期構想」を作成
日本学校体育連合研究会表彰 大泉栄一氏（元副会長）
第 11 回全日本中学校陸上選手権大会・第 15 回ジュニアオリンピック陸上大会 優勝市川
久美子（山五中）女子砲丸投
第 22 回全国中学校スキー大会 優勝伊東秀朗（蔵二中）男子大回転
- 昭和 60 年 第十四代会長に林昭二氏（山二中）就任
未普及種目（ヨット・ホッケー・ハンドボール）の専門部新設について、検討始開始
日本学校体育連合研究会表彰 林昭二氏（14 代会長）
第 12 回全日本中学校陸上選手権大会（札幌） 優勝柴崎浩子（楯岡中）女子 2 年 100m

- 昭和 61 年
県中学校駅伝競走大会開催 村山市
県中体連強化委員会が組織
ハンドボール専門部設置
秋の一年生大会を承認、但し、県新人大会と一緒にできる種目のみ
県新人大会の実施方法が変更 南ブロック（米沢・東置賜・西置賜・上山・東村山・西村山）
と北ブロック（北村山・最上・田川・飽海）に分けて開催
但し、相撲（最上大会に合わせて）バドミントンは、県一本で実施
第 26 回全国中学校水泳選抜大会 優勝鶴岡市立第四中学校男子総合、優勝佐藤伸晴（鶴四中）
男子 200m 自由形・400m 自由形
第 32 回全日中通信陸上大会（東京） 優勝柴崎浩子（楯岡中）女子 100m
第 24 回全国中学校スキー大会（山形） 優勝男子リレー県選抜チーム（高橋・須貝・青柳・奥山）
日本学校体育連合研究会表彰 鈴木仁氏（元評議員）
- 昭和 62 年
昭和 63 年度全国中学校選抜体育大会の対策委員決定
本県開催種目は 4 種目（軟式庭球・ソフトボール・柔道・サッカー）
専門部の設置基準を制定
中体連、高体連との連携について、その推進策の決定
第 14 回全日本中学校陸上選手権大会 優勝紺野善内（米三中）1 年男子 100m
第 18 回ジュニアオリンピック陸上大会 優勝山形一中 女子 B400m リレー（大会新 48 秒 87）
第 25 回全国中学校スキー大会（鳥取） 優勝男子リレー県選抜チーム（本間・落合・赤川・奥山）、
優勝女子リレー県選抜チーム（東海林・阿部・林・結城）
日本学校体育連合研究会表彰 日向静雄氏（元評議員）
- 昭和 63 年
第十五代会長に鈴木千年氏（山二中）就任
「べにばな国体」の種目普及、強化のため、「準専門部」として、6 種目種目増を承認（ホッケー・ヨット・なぎなた・カヌー・ウエイトリフティング・テニス）
中学生優秀選手 国体競技力向上対策本部指定 各種目計 835 名
県中学総体の会場が 5 地区（村山・飽海・置賜・田川・最北）ローテーション開催
第 19 回全国中学校卓球大会 優勝長井北中男子団体
日本学校体育連合研究会表彰 和田憲太郎氏（元評議員）